

町田通勤寮だより

NO 64
2017年 9月

社会福祉法人つるかわ学園 町田通勤寮

〒194-0045 東京都町田市南成瀬1-5-3

電話 042 (739) 0491

巻頭言

寮長 三階 広明

7月13日～14日にかけて千葉県で開催された関東地区知的障害者福祉関係職員研究大会に参加いたしました。(テーマは『ハート&ハート』) 13日は事業種別ごと等に七つの分科会、14日は全体会として基調講演、記念講演がありました。

分科会では地域支援部会の分科会に参加し、基調報告『地域で暮らす仕組みのこれまでとこれからを考える』と、三つの実践報告がありました。グループホームを中心にした「地域での暮らし」をそれぞれの立場から、その方にあつた地域での「暮らし」への支援の報告でした。

基調講演は、野澤和弘氏(毎日新聞論説委員、お子さんが自閉症で障害福祉分野での様々な情報発信もしておられます)の「これからの社会これから障害者支援」と題したお話で、多角的視点で「障害者福祉」の現状と将来像を考えていく必要があること、『津久井やまゆり』から1年という事も踏まえた「共生と多様性」というお話が心に残りました。

記念講演は安孫子薫氏(元株式会社オリエンタルランド運営部長等を歴任)

の「デイズニールランドの―おもてなし―の仕組み」と題したお話で、特に「人財育成」に関わる部分では様々な取組について示唆のあるお話を伺いすることができました。

この研修会で感じたことを、日々の業務に活かしていきたいと思えます。

話は変わってサッカーの話です。先日、来年開催されるサッカーワールドカップロシア大会のアジア最終予選が戦われ、日本代表はオーストラリアに勝利し、最終戦を待たずに予選通過を果たしました。初戦に敗れ出場が危ぶまれていた時期もありました。この試合では、本田、香川といった不動と思われていた選手が先発から漏れ、「世代交代」？というスポーツ新聞の見出しもありました。どんな世界にも必ず訪れる課題ですが、そのためにも「育成」という課題が重要になってきています。その意味ではこの試合で得点したのが若い選手だったことは、Jリーグを頂点とした組織的な取組が機能していると言えるでしょう。

自分自身の課題として振り返った時には、身につまされるところもありますが、今おかれている場で努力していきたいと思えます。

ボウリング大会&納涼祭

支援員 浅田 恵理子

7月15日(土) 18時よりラウンドワン町田店でボウリング大会を開催しました。

1レーンに5名で一斉にスタートし、カーブに凝る人や危なっかしい投げ方をする人、初めてボールを持つ人など様々でしたが、それぞれ楽しめたと思います。

チーム優勝、男性個人1位～3位、女性1位と得点が高かった方にはボ

ウリング大会の後に表彰をしました。

なかなか、普段見ることでできない表情を見ることができ、行事の大切さを感じることができました。

支援員 新井 政暁

7月15日(土) ボウリング大会の後、東林バーベキューにて納涼会(バーベキュー)が行われました。毎回のことですが、バーベキューが始まると肉を焼く係り、他人の分まで食材を持ってくる人、ひたすら食べる人などなど、利用者さんそれぞれの性格があらわれるのが面白いです。

ご飯を皆で食べることは、とても良いことのように感じます。味や値段より、誰かと一緒にご飯を食べること。若い利用者さんの年齢では中々わからないことかもしれませんが、これからの長い人生で、彼らがそういう時間を少しでも多く過ごせると良いと感じております。

携帯スマホ安全教室

支援員 西岡 理智子

8月31日、KDDIの方による携帯スマホ安全教室が行われました。スマホの料金やLINEでのトラブルなどは、利用者さんにも身近なことなので、皆さん興味深く話を聞いていました。

まずお金の話として、ギガ数を増やすことはどんどん高額になってしまっているので、Wifiルーターを持ってスマホのギガ数を減らすことや、自宅にWifiを引くのが一番安くて速度制限がないことを教えていただきました。

ゲーム課金についての話では、元々は無料のオンラインゲームでもアイテムを買うのにお金がかかり、アイテムを買う時に現金で払っている感覚がないため借金と同じというわかりやすいお話でした。料金トラブルにあった場合は、消費相談センターに相談するということも知ることができました。

また個人情報を書きこんでしまうと詐欺に巻き込まれることや次の標的にされてしまうというお話もためになりました。何か怪しいと感じたら無視することや信頼できる人に相談するのが一番ということでした。

LINEは便利ですが、使い方を間違えるとトラブルになってしまう。既読スルーに怒るのではなく、相手の都合を考えること。登録する際は、友達自動追加、友達への追加を許可を共にオフにするというのも、とても役立つお話でした。

歩きスマホについても話題に上がり、歩きスマホをして誰かに怪我を負わせたら100%自分が悪いということ、当たり屋の人は画面割れスマホを隠していることなどもあるというのには驚きました。

スマホについては、何事においても先のことを想像することが大切との最後の言葉に、皆さん納得されたようで、大変役立つ講座だったかと思えます。

スピーチフォーラム案内

支援員 入江 就仁

今年のスピーチフォーラムは11月11日・12日に東京のTKP日本橋カンファレンスセンターで開催されることとなりました。スピーチフォーラムとは正式名称を「関東地区宿泊自立訓練事業等利用者集会」と称し、関東地区の各通勤寮利用者の方が一同に集まり、日頃から感じていること・思っていることについて意見を出し合い、交流を図っていく場となっています。

今年は東京大会ということで我々もこれまで以上にモチベーションを高め、準備に取り掛かっております。職員の担当者会議はもちろんの事、主役である利用者実行委員会との会議も2ヶ月に一度開催し、意見を出し合いながら企画・検討を行っております。

スピーチフォーラムの主となる分科会については今年度、①仕事②趣味③人間関係④自立の4項目で話し合いが持たれることとなり、メインテーマで

も謳っている「自立」についても意見発表・交換の場を設けております。各分科会でどのような意見が出されるのか、どんな話し合いになるのか、今から楽しみです。

スピーチフォーラム当日まで残り2ヶ月余りですが、利用者方が楽しく、そして学びのある場となるよう準備に取り組み、参加できて良かったという意見を多くいただける様に望んでいきたいと思っております。利用者の皆様のご参加、お待ちしております。

調理実習

調理員 小西 敏之

8月13日(日)に調理実習を実施しました。

男性利用者さん1名と女性利用者さん2名、調理員2名の5名で調理を行いました。

献立は、お肉と野菜がしっかりと摂れる4品。「夏野菜のお好み焼き」と「パリパリキンサラダ」、「豆腐の冷製スープ」に「わらびもち」でした。

手洗いをし、身支度を整えて、調理分担を決めて調理に取り掛かりました。

お好み焼きには、ズッキーニが入り洋風な感じになりました。ズッキーニには、カリウムが多く含まれており高血圧に効果があります。また、ビタミンCも多く風邪の予防や疲労回復、肌荒れなどにも効果が期待できます。鶏肉の入ったサラダからは、たんぱく質が摂取できます。

冷たい冷製スープは、夏にぴったりで豆腐を使ったヘルシーなものでしたが、しっかりとコクがあり、美味しく出来上がりました。わらびもちは、火にかけて30分ほど練る作業が力仕事でしたが、男性利用者さんが担当し頑張って仕上げてくださいました。もちっとした食感のあるものに仕上がりました。

作業工程を考えて、野菜を洗うことから、調理、片付けまで非常に段取

り良く行うことが出来ていたと思います。女性利用者さんの包丁さばきは、なかなかのもので感心させられました。

夏バテの原因には、食欲不振や睡眠不足などがあります。エアコンによる影響も大きい様です。夏バテ防止のための食事の摂り方は、たんぱく質やビタミン、ミネラルをバランス良く摂ることです。お肉や野菜をしっかりと食べて、暑いからといって冷たいものがぶ飲みには気を付けましょう。

次回の調理実習は、10月22日(日)を予定しています。秋らしい食材を使った調理が出来たら良いと思います。皆様のご参加をお待ちしています。



新任職員の紹介

支援員 堀内 美樹

9月1日採用されました堀内美樹です。以前に神奈川県横須賀市で精神障害者の方達の就労移行事業所に勤務しておりました。就労を継続していくには本人の意欲が一番大切ですが、周囲のサポートも重要となってきます。今まで社会人として培ってきた経験をもとに町田通勤寮の利用者さんの就労と生活を支えていけるように支援していきたいと思っています。今後とも御指導の程よろしくお願い申し上げます。

8月1日より非常勤調理員として 加藤舞子 が勤務しています。よろしくお願いたします。

今後の主な予定

10月1(日)～2日(月) 宿泊訓練

11月5日(日) 保護者会

※ 定例は第2日曜日ですが、記事の中にもありましたスピーチフォーラムの関係で変更になっています。

◆町田通勤寮だよりのバックナンバーはつるかわ学園公式HPよりご覧になれます。

(<http://tsurugaku.sakura.ne.jp/wp01/jigyosho/sukinryo/ryodayori/>)